**ビジネスコンティンジェンシーフレームワーク**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ステップ 1 | ビジネス・インパクト分析 | このフェーズでは、ビジネスに害を及ぼす可能性のある潜在的な影響を評価し、ビジネス影響分析 (BIA) を作成します。BIAを上級管理職や主要な利害関係者とともにレビューし、可視性を確保します。 |
| ステップ 2 | リカバリ戦略 | 前の手順で完了した BIA に基づいて、すべてのリソース要件を特定して文書化します。ビジネスとBIAのニーズに基づいて妥当なリカバリ戦略を決定し、それらの戦略を文書化して実装します。 |
| ステップ 3 | 計画策定 | 緊急時対応計画の枠組みを策定する。復旧チームを設立し、組織する。また、混乱や災害の場合の移転計画を策定する。徹底したビジネス・コンティンジェンシー・プラン(BCP)とIT災害復旧計画を作成し、すべてを柔軟で流通するドキュメントにまとめます。完了時に上級管理職の承認を得る。 |
| ステップ 4 | テストと演習 | ビジネス不測の事態対応計画が正常に機能するように、ビジネスが実行できるテスト計画とその後の演習を作成します。テストと演習に基づいて、必要に応じて BCP を更新します。  |

|  |
| --- |
| **免責事項**Web サイトで Smartsheet が提供する記事、テンプレート、または情報は、参照のみを目的としています。当社は、情報を最新かつ正確に保つよう努めていますが、本ウェブサイトまたは本ウェブサイトに含まれる情報、記事、テンプレート、または関連グラフィックに関する完全性、正確性、信頼性、適合性、または可用性について、明示的または黙示的を問わず、いかなる種類の表明または保証も行いません。したがって、お客様がそのような情報に依拠する行為は、お客様ご自身の責任において厳格に行われるものとします。 |